

令和元年度小江戸川越観光協会事業報告

事業報告総括

令和元年度は、各種イベントやキャンペーンの実施、SNS を活用した情報発信さらに外国人観光客誘致施策を推進しました。その結果、来年に迫った東京オリンピックの開催の機運高揚の影響もあり、日本人・外国人とも最多の観光客を受け入れました。

重点具体策

1. 会員増強施策

種 類	令和元年度	平成 30 年度	比較増減
正 会 員	508 名	520 名	△12 名
賛助会員	49 名	49 名	0 名

2. 受入態勢の整備

観光客向けのパンフレット・英語版観光情報のスマートフォン対応の充実、観光案内所活用型ガイドツアー立ち上げモデル事業など実施しました。

3. 外国人観光客誘致

外国人観光客数（暦年）

令和元年	平成 30 年	比較増減
31.3 万人	27.9 万人	+3.4 万人

I 観光振興及び観光客誘致事業

(定款第4条第1項第1号)

観光パンフレットの充実や SNS により、各種イベント、季節毎の観光情報などを発信するとともに、次に掲げる事業を積極的に実施し、さらなる観光客誘致を行いました。

1. 観光振興事業

1.1 IT ベースによる情報発信の充実及び観光宣伝

- 協会ホームページの活用

PV 数：1,196,052PV

フォトライブラリー利用件数：84 件

- FaceBook や Instagram など SNS の有効活用

FaceBook 並びに Instagram におけるフォロワー数

種 類	令和元年度	平成 30 年度	比較増減
FaceBook	1,265 人	1,160 人	+105 人
Instagram	1,261 人	968 人	+293 人

1.2 紙面による情報発信及び観光宣伝

- 情報誌「おもてなし」の発行

2019 年 12 月 16 日に当観光協会創立 60 周年を迎えるにあたり、小江戸川越観光協会創立 60 周年記念誌「小江戸川越おもてなし」を 12 月に発行しました。

- 観光パンフレットの製作及び配布

小江戸川越散策マップ：70 万部製作

小江戸川越散策ガイド：5 万部製作

- 多言語パンフレットの製作及び配布

3 言語を集約したパンフレットに刷新しました。

- ・英語／繁体字／韓国語 ver
- ・英語／簡体字／タイ語 ver
- ・英語／フランス語／ドイツ語 ver

- 新聞、雑誌、旅行情報誌等への広告掲載

「川越専科」など

1.3 広報用商品の開発及び販売による観光 PR

- 川越まつりカレンダーの製作及び販売

販売価格：700 円(税込)／販売枚数：316 枚

- 川越まつり DVD の販売

販売価格：2,000 円(税込)／販売枚数：238 枚

- 元禄七年川越城下絵図の販売

販売価格：300 円(税込)／販売枚数：523 枚

1.4 観光に関する問い合わせ対応、観光パンフレットの提供

- 電話による観光に関する問い合わせ件数：1,103件※土日祝日のみカウント
- 観光パンフレットの提供件数：2,068件

1.5 マスメディアとのネットワークの強化並びに有効活用

- 川越記者クラブなどへの情報提供をしました。

2. 観光客誘致事業

2.1 観光キャンペーン等の開催、参加、協賛

おおがき芭蕉楽市、熊谷ラグビーW杯、ふるさと観光展 IN 仙台駅、SAITAMA トラベルマートなどへの参加

参加キャンペーン数：18件

2.2 観光イベントの実施

事業名	開催日	入込観光客数
第30回小江戸川越春まつり フィナーレイベント	5月3日～ 5月5日	188,000人
第29回小江戸川越花火大会 有料観覧席	8月17日	800人
食と音と灯りの融合事業	9月7日～ 9月8日	—
川越まつり有料観覧席	10月20日	150人
第31回小江戸川越春まつり オープニングイベント	開催中止	—

II 他団体の実施する活動への支援及び能力開発事業

(定款第4条第1項第2号)

「川越きものの日」や「伝統和芸鑑賞会」など、川越の歴史や文化などを発展させようとする他団体への支援を行いました。また、鉄道各社や埼玉県物産観光協会と共同によるキャンペーンなども実施しました。さらに、川越ブランド認定制度や新たな川越の観光資源の開発などに取り組んでまいりました。

1. 他団体への支援活動事業

1.1 助成による支援

令和元年度実績：13 事業

1.2 後援等による支援

令和元年度実績：49 事業

1.3 その他、委員会等への参画、役務提供等による支援

- JR、東武鉄道、西武鉄道共同開催による駅からハイキング
参加者の安全確保を図るため、事前の実地調査、当日の誘導等で協力しました。
- 小江戸川越粋な伝統和芸を守り育てる会
事務局として、演目の選定、当日の受付、パンフレットや前売券の作成及び協会ホームページや FaceBook による告知活動等で協力しました。
- 川越きものの日実行委員会
事務局として、イベントの開催実務、ホームページの作成、運営等で協力しました。

2. 能力開発事業

2.1 観光資源の開発

着地型観光の新たなルート開発、夜のにぎわい創出のための観光イベントを開催しました。

2.2 小江戸川越ブランド産品事業の推進

魅力ある地域産品を「川越セレクション」として、ウエスタ川越における展示やパンフレットの提供、協会ホームページを活用して広く PR しました。

認定商品数：60 商品（新規認定 1 商品含む）

2.3 ホスピタリティーの向上

快適に観光していただくため、クローズドサービスを実施しました。

Ⅲ 観光施設等の運営及び受託事業

(定款第4条第1項第3号)

川越に来られた方の利便性向上のため、観光案内業務（外国人含む）や観光施設等の運営を行うとともに、案内所にてクロークサービスを行いました。

1. 観光案内事業

1.1 仲町観光案内所の業務受託

- 英語による観光案内、情報提供を引き続き行いました。
対面による観光案内件数：78,579件
(外国人観光案内件数：2,875件含む)
- 有料(500円/1個)によるクロークサービスを8月より開始しました。
令和元年度実績：30個
- 観光案内所活用型ガイドツアー立ち上げモデル事業業務委託
案内所スタッフによる外国人観光客向けガイドツアーを立ち上げました。モニターツアーを3回実施し、外国人観光客9名が参加しました。

1.2 札の辻事務所における観光案内業務

- 英語による観光案内、情報提供を引き続き行いました。
対面による観光案内件数：11,021件 ※土日祝のみカウント
(外国人観光案内件数：818件含む)
- 有料(500円/1個)によるクロークサービスを8月より開始しました。
令和元年度実績：24個

2. 観光施設等維持管理事業

2.1 仙波東照宮の公開

- 日祝日に開閉門し、観光案内並びに公開中の建物の管理等を行いました。
令和元年度実績：28,230人

IV その他、公益目的を達成するために必要な事業

(定款第4条第1項第4号)

駐車場の運営を行うとともに、川越の水や協会のオリジナルグッズ販売の拡充に努めました。

1. 収益事業

1.1 駐車場運営関連事業等

1.2 川越のグッズ及び土産品の販売拡充

○主な川越のグッズ

商品名	販売価格(税込)	販売数
川越の水	120 円	16,866 本
川越いも茶※1	150 円	3,605 本
川越いも茶ティーバッグ※2	430 円	0 個
ときもぬいぐるみ (大)	2,000 円	129 個
〃 (中)	1,200 円	309 個
〃 (小)	800 円	679 個
ときもストラップ	500 円	709 個

※1 川越いも茶は8月をもって販売を終了しました

※2 川越いも茶ティーバッグは令和2年1月より販売を開始しました

○土産品の販売拡充

仲町観光案内所において、川越のグッズの販売を開始しました。また、平成30年度より開始しました川越まつり会館においても引き続き、川越のグッズの販売を行いました。

会 議 等

会 議 名	日 程	主 な 内 容
総務委員会	4 月 15 日	通常総会付議事項について
第 27 回理事会	4 月 24 日	通常総会付議事項について
通常総会	5 月 28 日	事業報告並びに決算及び監査報告 定款の変更について 役員を選任について
第 28 回理事会	5 月 28 日	専務理事の選任について
総務委員会	7 月 25 日	令和元年度決算見込額について 運営委員会設置規程の変更について
第 29 回理事会	8 月 5 日	令和元年度決算見込額について 運営委員会設置規程の変更について
第 1 回 KOP 会議	9 月 25 日	協会販売物の拡販について きものの日実行委員会の運営について
事業企画委員会	11 月 8 日	小江戸川越春まつり オープニングイベントについて
総務委員会	11 月 11 日	令和元年度決算見込額について 令和 2 年度事業計画並びに 収支予算書に関する指針について
第 30 回理事会	11 月 22 日	令和元年度決算見込額について 令和 2 年度事業計画並びに 収支予算書に関する指針について
総務委員会	R2 年 2 月 13 日	令和元年度決算見込額について 令和 2 年度事業計画並びに 収支予算書について
第 31 回理事会	R2 年 2 月 20 日	令和元年度決算見込額について 令和 2 年度事業計画並びに 収支予算書について
小江戸川越ブランド 商品事業審査会	R2 年 3 月 11 日	新規 3 品、更新 52 品の認定審査及び 製品の PR 方法について